広報こすど
発行所 小須戸町公民館
新潟県中蒲原郡小須戸町
印刷発行編集人 矢部藤三郎

新年度予算決まる

三十七年度予算を審議する定例町会は去る三月十九日より二十九日まで開かれました。まず一般会計の予算額を前年度と対比しますと、

三十七年度	六、七四、七〇〇円
三十六年度	六〇、五二、六〇〇円
増	三、一三、一〇〇円

となっています。この増は(1)中学校南舎を鉄筋コンクリート三階建に建設する工事費と(2)多年の懸案であった屎芥焼却場の建設を含むその他であります。中学校の復旧には多額の補助が交付になるので、目下設計を依頼しています。いっ時も早く竣工をみ、生徒が晴々しく授業をうけられるよう諸事をすゝめています。

以下提案された議案の中から拾ってみます。

一、小須戸町災害公営住宅の建設について

矢代田小学校南手の山林を整地して三戸、新保の町住宅に隣接して二戸を建築します。

二、分担金の払戻について＝ウデコキ、五番町、四番町の一部から御負担願った舗装分担金を払戻すことにしました。

三、議会議員の給与を

議　長　月額　八〇〇〇円
副議長　〃　七〇〇〇円
委員長　〃　六五〇〇円
議　員　〃　六〇〇〇円

に改正しました。

四、特別職の給与も

町長　月額四五、〇〇〇円
助役　〃　四〇、〇〇〇円

に改正されました。

五、非常勤の特別職の報酬改正

監査委員、農業委員など各種委員会の委員報酬を若干引上げ、新に体育指導員と農業労働力調整協議会の委員に報酬を支給することにしました。

六、納税奨励金の廃止について

従来納税の都度納税額の二%を奨励金として交付して参りましたが、自主納税の建前から奨励金は今年度から全廃することになりました。それに代えて優良納税者に対しては別に之を報償する方策を考えています。貯蓄組合には組合員三十名以下の場合には一名につき五十円、三十名以上の組合には一名につき百円を助成金として交付されます。納期内に納税が自然とできる納税組合を結成されるか、最寄りの納税組合に加入して下さい。なお税に関連して扶養控除が新年度から四〇〇円に引上げられました。同時に所得割の税率が次の通りに改正減税することになりました。

三万円以下の金額	
一〇〇分の二	
三万円をこえる金額	
一〇〇分の三	
五万円 〃	
一〇〇分の四	
一〇万円 〃	
一〇〇分の五	
二〇万円 〃	
一〇〇分の六	
三〇万円 〃	
一〇〇分の七	
五〇万円 〃	
一〇〇分の八	
一〇〇万円 〃	
一〇〇分の九	
二〇〇万円 〃	
一〇〇分の十	

七、消防団について

団長、副団長、分団長、部長の任期を四年制にして短期交替の弊を除くと共に分団長、部長、班長の役員は団員外からも任命できることに条例を改正しました。長年勤続して退団される団員に記念品を贈る標準は、在職した階級のそれ〴〵の年数を退職する当時の年報酬に乗じた合計額で贈ることになりました。

八、火災予防条例の制定

消防法の規定に基き新に条例を制定しました。内容の詳細は別に広報いたします。

九、国民健康保険条例の改正

助産費と葬祭費をそれぞれ千円に引上げ、往診の制限を解除しました。

十、農業労働力調整協議会の設置について

三十六年八月、農業基幹の労働力の確保をはかりつゝ家族従事者が他の産業に就業を希望する場合適当な職業につくことができるよう任意に設置されていたが、今回これを条例化し、近代的農業経営者の養成と前記の目的達成のため活動を起すことにした。

十一、地方産業育成資金について

昨年度同様百二十万円の借入をなし、同額をつけ足して中小企業者の資金借入れの便をはかった。信用保証協会の保証料については二厘の利子補給を行って借入者の負担の軽減をはかることにした但し五十万円以下の借入に限る。母体たる商工会には四十万円が補助されます。

十二、町村職員退職手当組合の設立加入について

各町村には独自の退職金条例が制定されているが今回、県下を一本にした退職手当組合が設立されることになり、本町もこの組合に加入することが認められました。

十三、三十六年度の一般会計予算の最終額が八千九百万円になりました。中学校の南舎を解体する工事費と災害公営住宅の特別会計へ繰出し等が今回追加になっています。

以上のほか土木工事については表町通りの舗装や永久橋の問題、福祉面では都市ガスの問題、保育所の問題が次期に尚持ち込まれました。

農林省 金沢農地局長賞を

新保地区農地交換分合優良地区として

このたび三十五年に実施してきた農地の集団化(農地交換分合のこと)の優良地区として去る三月九日、金沢市に於て農林省金沢農地事務局長賞を授与された。之は小須戸町農業委員会と地元耕作者との数回の会合により集団化の機運と必要性を十分に理解し、各関係者の協力により集団化が実施され、今回の名誉ある受賞となった。

又、当町の他の部落については、昭和二十六年に県知事より表彰されている。

西蒲で天狗大会

四月一日漆山で第七回町民釣大会が行われ参加者は四十五名であった。

大会終了後の反省会で今後の大会のあり方に次のような意見があった。

経費は個人の負担でなく老若男女、誰でも気軽に参加でき、自転車で行ける手近な場所で「町内対抗魚釣大会」を五月のあさみどりの空の下にこゝろみたらどうかと。

当日の成績は次の通り

▽優勝　高山博
▽大物賞　五弊鉄男
▽二等賞　森田吉次
▽〃　須藤徳三郎

小須戸町小・中学校教員の異動

転出の部

○矢代田小学校
酒井克代　新潟大夫浜小
井上和子　中蒲横越小
斎藤一子　五泉馬下小
金子ムツ　退職

○小須戸小学校
大野正淳　見附見附小
田村厚　〃
風間悦男　〃
金子久弥　両津浦川小
憲倉和子　新潟割野小
臼井ミヨシ　中蒲矢代田小
長谷川正子　退職

○小須戸中学校
会沢勇　栃尾上塩中校長
植村清　〃　栃尾中
酒井和伸　県立三条東高
松木真言　県保健体育課
神田竹雄　新潟市教委

転入の部

○矢代田小学校
臼井ミヨシ　小須戸小
豊島富美　東蒲鹿瀬小
渡辺真寿美　南蒲大和小

○小須戸小学校
新田見哲也　中魚下船渡小
岩淵孝子　東蒲西川小
大野淳夫　新卒
小笠原紀子　新卒
中山美世枝　東蒲島井小

○小須戸中学校
高山司　新津一中
安藤雄治　古志山古志中
高橋宏造　東蒲日出谷中
長嶋貞夫　新卒
佐野堯　〃
沢井稔　〃
三浦玲子　〃

小須戸小・中校「学校行事等」の研究で表彰

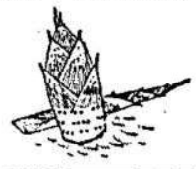
小須戸小・中両校は昭和三十五・六年度にわたって「学校行事等」の研究指定校となり、鋭意研さんにつとめたのでこの度県教育委員会から表彰状が授けられた。

「学校行事等」という教育のなかみは入学式、卒業式といった儀式などから運動会、修学旅行をはじめ身体検査、学力テストの類までを含めたもので、学校というものがはじまった時からあったものである。之らは教育の外のものゝように取り扱われていたり以前にやった型を何の考えもなしにくり返していたきらいがあった。新しい指導要領(教育の内容や方法についてのきまり)では之らの教育的な意義を教科など同列に認め、之らの行事等を行う時間は授業というようにはっきりさせた。この意味では全く新しい教育の領域であるともいえる。県が学校を指定して「学校行事等」の研究に当たらせたことは画期的なことであり、全国でも珍しいものである。従って両校のまとめた研究資料は県下関係学校間だけでなく、文部省や他府県にも参考となった。

二カ年にわたる研究は両校職員の努力の賜である事はいうまでもない。小須戸小ではナイターと称して、深夜に及ぶ研究討議が重ねられたし、小須戸中学校では台風被害と教室事情の困難をのりこえて精進を続けていたのである。

両校では、この重責を果たしたことについては一重に地域社会―町当局PTAの協力によるものであると感謝している。

郷土風記　小須戸



柏大治

鎌倉酒

酒は神代からあって、日本民族には切り離すことができないようです。

儒教では酒は百薬の長とも、不老長寿の妙薬とも称していますが、それにしてもほど〳〵に呑んでの場合でしょう。

仏教では酒をひどく嫌い、堂酒山門に入るを禁じるなどといって、酒を呑む人は五毒の害があるといっています。

一、健康に害がある
一、喧嘩争論を起し易い
一、経済上よくない
一、社会上の信用がなくなる
一、家庭を破壊身をほろぼす

等を上げて五戒の一つとしています。特に釈尊は酒を呑む人や造る人より売る人の方が罪が深いとしています。

こうした教えを受けても悲しみにつけ、喜びにつけ酒を愛用する向きが多いようです。

しかし酒の功罪は別として、小須戸にも昔から酒製造者がありました。

文化元年十月に新発田藩へ定例高願いといって酒に使う米高を希望する酒屋は次の通りになっています。鎌倉の松之丞は享保年間には三五〇石の実績のあったものを、文化年間には四五〇石にし小須戸町の与五右工門は二三〇石を三〇〇石に、文政は一三〇石を同じく一三〇石、新八は二七〇石を三八〇石に醸造米を増石してほしいと願い出ています。之はいずれも酒の造り高でなく米の石高です。鎌倉に一軒、小須戸町に三軒、このように本格的な酒造家がありました。中でも特に鎌倉酒は芳香美味で広く名声を博しました。水の良いのと酒製造に改良を加えた関係でしょう。この酒には五社川の水を使用したといわれています。

「清酒」として最も良い酒のできたのは元和頃で落穂集によると「津の国鴻の池の酒屋勝あんという者、酒二斗ばかり入る樽二ッを一荷として其の上に草履数足おきたるを担いて江戸に下り、大名の家々に至り壱升を銭二百文づつに売りたり。其の頃はまだどぶ酒のみにて嘗て彼の者の持来る如き美酒なき故、ばいとりが直ちに売りはやしたるにより」と多くの利潤を得たことが記されていますが享保、文化と時代がくだってもまだ一般の酒造りでは、「どぶろく」のこした程度のものだったようです。

くだって天保十三年の記録によりますと、幕府より鑑札を受けた酒造家として、鎌倉の松尾利右工門に良平(不明)の二人だけの名前が記載されています。そこで文化頃の四軒の酒屋の他に、新規に二人の酒屋ができて鑑札を受けたのかと思いましたが、実は天保のききんなどの米穀事情で酒造りにも統制があってむつかしくなり、藩の許可から幕府の許可に変わったようです。前記の酒屋は廃業して二人の酒屋だけになりました。

小須戸町の酒屋の廃業の原因は、文化の正蓮寺大火で焼失したのと水に恵まれなかったようです。

鎌倉の松尾利右工門の時代に良い酒ができました。本格的に酒を研究して杜氏(とじ)に会津耶摩郡小出附村の伊関平七を迎え、酒に改良を加えました。又この伊関平七という人が困窮者を多く救済して、鎌倉酒と共に美談を遺しています。

松尾利右工門は天保頃に始めて鑑札を受け、酒製造元をしたといわれていますが、一説には宝暦頃に始めたという文献もあります。続いて慶応三年の全国名酒帳には鎌倉松尾利右工門、矢代田の和泉屋東作の名がでています。松尾利右工門の造った酒の生産高は不明ですが、相当の生産高であったことが想像されます

利右工門の長男久三郎も田上村の田巻三郎次郎の出店の支配人として酒造りに従事していましたが明治初年に廃業して、そのあとに小須戸の鎌倉屋の祖父、藤田仙三郎氏が一時「港川」という酒を造りましたが、何年も造らなかったようです。

一方、矢代田の和泉屋本多東作、東造と大正の中期まで酒造りを続けて盛りの頃は「越の花」「北国一」「北のほまれ」などの銘酒を造り、その生産高は四千三百石と称されました。そのあとをつぎ大正十一年十月に北越酒造株式会社が設立されて銘酒「千代祝」が有名でした。会社の取締役には故元県議の高橋重四郎氏が就任し、昭和十二年から戦時下の会社廃止まで田中四郎氏が社長でありました。

このようにして変遷がありました。従って酒の小売屋も多く、明治十五年の調べには十六軒ありました。市場に酒を売りでたり、又明治には一時自家用の酒造りを許可した時代もありました。

終戦直後はもっぱら闇の「どぶろく」が流行しましたが、今では矢代田の村祐酒造株式会社が、「千代祝」に変わって清酒「花越路」合清酒「長寿」を出しています。社長の村山吉五郎氏は、甲信越関東の酒の組合長から全国酒組合の理事として活躍しておられます。それに小須戸の田中酒造株式会社が、焼酎「曙」を製造して共に昔の酒どころの伝統を保って、町の重要産業として全国に販路を開拓、銘酒として好評を博していますことは、上戸党にとっては誠に心強いことです。

火事に注意し研究した施設を

〔壇論〕

火事、異常なサイレンの音、自動車ポンプの出動、焼けた、灰になった。このような事態は私等零細民にとっては、生命に次ぐ一大悲惨事であります。幸い当町では消防団員諸氏の適切なる啓蒙指導と、全町民の自戒によりこの数年来、一部被災者には同情に堪えませんが、大火災は無く御同慶の至りです。

又一朝失火、出火の場合は如何にして迅速に且つ正確に消防署へ「伝達」するかを検討することはボヤで消し止める作業と共に、より以上必要ではないでしょうか。そこで私の体験談を二つ。

◎住吉町の火災の際、火事だ!との声に戸外に出たらすぐそこ、だがまだサイレンさえ鳴っておらない。すぐ電話器に信号、交換嬢より「モシモシ」の答え私は「サイレンが鳴っていないじゃないか」ただの一言。ガチヤンと受話器を掛けて知人宅の応援に出掛けました。

私の当時の心境は風向き及び発生場所が道路の上側であること、局舎がモルタル塗りであったこと、役場の用水池、十字路のところの消火栓、自動車ポンプは横町にあり、又火災保険にもホド〳〵に契約してある等、私は全く安心の境地にあり、ただポンプの遅いことにより、気の毒な被災者が多くなる。知人の家も危険になるというオートバイが始動時に火を噴いた。灰、消火弾二個を使ったが消えない。その内に彼氏は「油タンクが破裂すると大変だから消防署へ電話を」という。私はだまって電話で「消防署」と呼びだす。しかし交換嬢はアッサリ「話し中」その内に油性消火器が田中油店にあるので、それを使用して直ちに鎮火。

さて町民の皆さん、不幸にして自宅又は近隣で失火の際、如何なる処置や行動をすべきかは、なんといってもまず消火に全力を尽すでしょうが、それとは別に一部の人は一刻も早く消防署へ。

速く正確な発生カ所を何んといって交換嬢に告げたらよいのでしょうか。当局、郵便局、学識者諸氏の意見により、適切な方法等を全町民に徹底させて欲しいものです。

次に消火栓のことですが今年も又大雪という予想である。臼井村、金津村でさえ地上式ですが、当町のものは地下式であります。そこで積雪期では消火栓の確認又凍結により、堀り出すに大変な時間を要します。積雪期に地上式のものが一基できたが、ぜひ町内にとり付けてもらいたいものである。経費の点では予算の少ないことはしようがないが、町内の年賦町内債(仮称)でも発行し処理してはどうだろうか。

ゆく〳〵はホースノーブルでも町内費で整備し、消防団員の指導を受けて不幸を最小なものにくいとめる消火活動ができるようにしたいものであり、この方面の方策を研究し住民が少しでも安心のできるようにしていただきたいものです。

(藤田生)

◎昨年自宅前の道路上で

× ×

ぐっとふえた進学
中学の進路決定す

本年三月、小須戸中学を卒業した三〇三名の進路集計ができたので発表する。

項目	男	女	計
進学	六八	六〇	一二八
就職	五四	六六	一二〇
自家業	二二	二三	四五
養成所	二	六	八
その他	一	一	二

進学内訳

三条高　三　長岡工専二
加茂農一二　三条実高
新津普四一　機　四
被　七　商　七
商　七　明訓　二
燕　工　一　新潟高　三
新潟商一〇　新潟工　三
五泉実　二　新潟東工一
加茂暁星九　新発田工一
北越商　四　天理高　一
女子工芸七　中央高　一

就職生内訳

県外　男　二九　計
女　三三　六一
県内　男　一一
女　一五　二六
町内　男　一四
女　一九　三三

職種別内訳

機械関係　男三四　女一一　計四五
電気関係　男一　女二　計三
店員関係　男四　女九　計一三
大工・木工関係　男三　女〇　計三
コック・ウエトレス　男二　女一　計三
事務　男〇　女二　計二
紡績・縫製・メリヤス等　男一　女三二　計三三
紙器加工　男二　女〇　計二
印刷工　男二　女一　計三
その他クリーニング、看護婦、家事見習、美容見習、バス車掌、農業等　男一　女九　計一〇

進学生は、これによると全体の四二・三%でぐっとふえてきているが、まだ〳〵他とくらべると不足で、進学率のみをみると新潟県は全国のビリから三番目、更に県内では中蒲がビリから三番目になっている。しかしこれは更にふえる見込みで、今の予定では来年三月は一七六名で五二%、更に次の年は一九八名で六二%と上昇の予定である。これに対処するには新設高校の利用と、進学生の開拓がまず考えられるが本年も本校より初入学の学校が六ヵ校ふえており更に積極的な進出を考えてゆかねばなるまい。

生徒の個性と能力に応じた学校選択が、より一層重大なものになってくると思われる。

就職関係で目立つことは県外がへってきて、わずかではあるが町内がふえてきたことで、これは県外の生活費が案外かゝると共に、町内の給与条件が次第によくなってきたことによると思われる。

女子はほとんど大企業に集中しており、その合格率も本校は良い方である。男子の大企業は割に少ないが、それだけに競走はげしい。縁故は非常にへっており、同時に求職が七月頃から始まっているので、今の三年生は七月頃までに態度を決定しておく必要があると思われる。

活かしてつかえ
茶の湯

小須戸町商工会の主催で一夕、花と茶の話しをする機会を得たので一文をおくる。

私たちの眼にうつり、私たちが手にするものは数限りなくありますが、これらのものがあるべき個所にあるべき状態で、本当に最良に生かされて使われているかといえばなか〳〵そうでないものが多いし、私達の心構えも満足でない場合が殆どではないでしょうか。

私たち石州流茶道の流祖、石州公の逸話にこんなものがあります。石州公は煙草が好きで常用されていましたが、その火入れが唐物の誠に立派なものだったので、ある時門人の一人が、これは火入には惜しい品物である香炉に用いたならば更に見事であろうと、香炉にすることをすゝめると、石州公はこれを承知しなかった。そこでその訳を聞くと石州公が答えるには、茶の湯の意味はかようの所にある。この火入を香炉にすれば道具を殺すものだ。その訳は火入に用いると無類の火入である処、格を上げて香炉に用いると、香炉の内では下の香炉といわねばならない。よい火入を捨てて悪どい香炉にするのは道具を捨てることである。何物にもよかれあしかれその用いる所によって悪い物もよくなり、よい物も悪くなる。たゞその用いる人の上手下手によって分れるのである。之を職いの場合にたとえれば大将がよい士卒を使うようなものである。すべてのものにすたれものはない。愚将は之にしてよい士卒を捨てるものである世の中にはすべてかくの如き理がある、と答えたという。

この話しは私がある書物を読んで頭に残っているものですが、この話しからして私は単にお茶の教えのみならず、処生上の教訓を学ぶことができると思います。適材適所ものを生かして使うことが大切なことで、わかりきったことでありながらむずかしいもの。

お茶で例えれば、人を招くのに何の意味で、どの方々をお招きするか又その季節、場所等が自ずから茶席の構え、準備また道具組から懐石まで関係を持ち、一つの花入をとっても今日のこの茶会に一番ふさわしい物を使う。生けられる花もしかり、すべての道具が最も生かされた最良の状態かどうか、いち〳〵吟味を重ねることが大切です。このことは招く側からすれば誠に面倒であろうが私はまた一番楽しいことだと思います。あれこれと考える苦しみと、又楽しみの一つではないでしょうか。そしてこれは招かれた客にとって、この上もない御馳走であるわけです。このことは茶を離れてもいえることで、家庭の主婦は季節のものが八百屋の店先に並ぶみず〳〵しい野菜を見て、新鮮さを失わず美味しくしかも経済的にと考える知恵をしぼって調理したが、さて器はと考え、並べかたはというように考えると、生活の一こま一こまの中に楽しみがあり心の張りが見出せるものではないでしょうか。

常によく物を理解し、何物でもそれを自分のものとして頭の中に整理し何ごとによらず生きた生活、生かされた生活をおくりたいものです。

「人と鋏は使いようで切れる。」といわれますが人と鋏に限らず、すべてのものを上手に使いこなしてゆくように心掛けたいものです。

（武田玄峯）

新入学児童生徒紹介

昭和三十七年度においては、小学生及び中学生の入学はどんな数でしょうか。

小須戸小学校入学

町部	
横水方面	一〇一名
新保方面	一九名
計	一五二名

矢代田小学校入学　六九名

小須戸中学校入学

町部	
横川	一七五名
小向	一七名
水田	八名
新保	一三名
竜玄	三三名
天ケ沢	九名
鎌倉	三一名
委託生(戸石)二二名	二〇名
計	四〇二名

以上のようになり、小須戸小においては二学級の減、中学校では二学級の増となる。

御破算で願いましては
〜第九回珠算大会終る〜

去る三月四日(日)午前九時三〇分より小須戸町公民館並び小須戸町商工会共催で、第九回珠算大会が開かれた。この日は日曜ではあったが、学期末テストなどで、予定の人員には達しなかった。それでも百余名の出席で、大会を終ることができた。

入賞者は次の通り

三年生一位　加藤真理
〃　二位　加藤友子
〃　〃　渋谷美智子
〃　三位　川瀬直人
〃　〃　大田一彦
〃　〃　大川文子
四年生一位　上田真知子
〃　二位　中沢郁子
〃　〃　三浦享子
〃　三位　中野悦子
〃　〃　児玉裕美
〃　〃　田中恵子
五年生一位　三浦恵子
二位　吉沢裕子
〃　三位　梅津恵美子
〃　〃　吉沢春雄
〃　〃　藤田由紀子
六年生一位　長沢法長
〃　二位　中野伸子
〃　〃　高橋百合子
〃　三位　花沢茂
〃　〃　南場テイ
〃　〃　星野とも子
〃　〃　久保春美
〃　〃　相田ケイ子
中学生一位　新井田四郎
〃　二位　竹石清
〃　〃　佐藤正博
〃　三位　柴沢幸雄
〃　〃　川瀬修治
〃　〃　斎藤早苗

大時計御目見得
小学校卒業記念品

本年三月卒業の児童は第七回を数える卒業生中の最高人数の故もあって体育館外の児童玄関上に方一メートルの大時計を贈った。

今までにも時計の声は何度かあったが、管理上の難点もあって、見送られていただけに、今回のそれは電池による親時計(体育館内に設置)の正確な動きを伝える式になっており、近くで見ると一分の針の動きもはっきり見られる。

さらに通学の途上の児童や通称学校通りの道をゆく人々にも、正しい時刻を示してくれている。

産業めぐり　その13

セメン瓦工業では県下でも有数
優良認奨工場に指定
田巻コンクリート工業株式会社

春ともなると各家庭で来の逆水防止を一層完璧には新築計画もあるでしょうにし、形状も美しく整え うが、今回はセメン瓦に皆様に満足していたさき ついて紹介しましょう。また県庁、病院局、諸官庁

屋根材として広く皆様より指定を受け、益々増 に知られている従来のセ大の一途をたどっていま メント瓦は、当社に於てす。(その高圧瓦は耐圧 はだいたい三十五年前よ二〇〇kg/m²、吸水率六%) り製造しております。当 当会社で製造されるもの 時は市場もほとんどなく は高圧瓦(和型、洋型)普

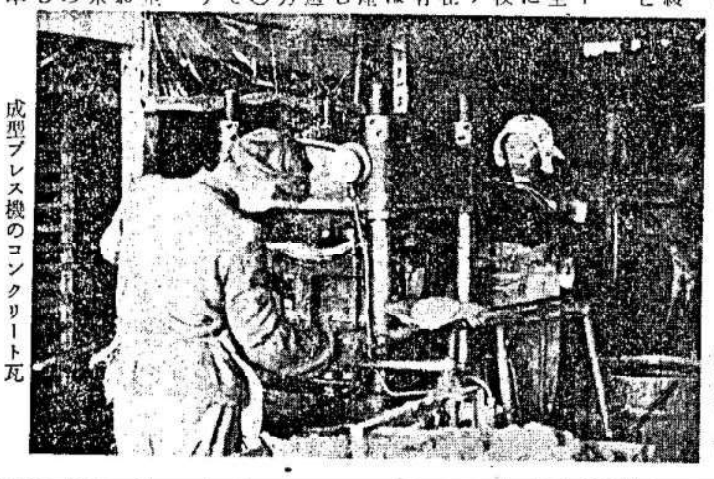
その後耐火建築がさけば通セメント瓦、建築用ブれるようになり、焼瓦とロック、モルタル暗渠管そして低廉と優雅さで年その他コンクリート二次々増加の道をたどってい製品です。

ます。現在では屋根材と昨年の台風後、特に人しては積々ありますが特手不足と資材の値上りで に高圧瓦(厚型スレート)その価格も高くなり、又は、日本古来の焼瓦の特農家の在庫で春出しを待質とセメントの特質を生つはずの製品が、年末年かし、特に当社独得の高始の輸送難、暖冬の為の圧洋型(新案特許出願)は工事の繰越しなど、いろ新しいデザインにより従 〳〵な悪条件も手伝って セメントの品不足は業界始まって以来のことで、現在では値上りと品不足でセメント界の混乱を巻き起こしております。

四月になればどうにか緩和されるのではないかと各界の見通しです。

このような値上りムードの折、当社では大量生産で一貫した流れ作業により瓦で日産七〇坪(枚数で三、四〇〇枚)ブロックで日産六〇〇個、現在では生産が間に合わぬ有様です。建築ブロックは群馬県の浅間山麓より産出される軽石を主材としこれに砂、セメントを適量に混合したものを強力なバイブレーター(振動)によって形成し、今日では用途も多方面にわたり一般建築材はもちろん、家庭用としては塀頃、室内装飾等に用いられております。昭和三十年、県より当社の優秀さを認め始まって以来のことで、工業規格表示工場への近代的設備と製品管理とを重点的に指向して、考慮研究を続けております。

今後このようなセメントを主材とした製品の用途は益々盛んになることでしょうと田巻社長の談。



成型プレス機のコンクリート瓦

町助役決まる
佐藤佐吉氏
前新津財務事務所長

長い間欠員中であった小須戸町助役は、新津財務事務所長の佐藤佐吉氏に決定十五日に着任されました。

町を私達の手で衛生的に

去る日曜に渡場町、上田町と一番町の皆さんが冬中、ゴミを捨てられた渡場町舟つき場の清掃奉仕をされた。これからカやハエの発生場となるのでお互にゴミをめい〳〵によく始末して、衛生的な、きれいな町に致しましょう。

歌集募集
小須戸町青年歌詩

小須戸町連合青年団では町の青少年が民主国家にふさわしくすこやかに成長し町の発展と共に伸びゆく小須戸町青年歌を作ることになった。広く歌詩を募集している。

◉〆切り　館報発行日より十五日内に

◉応募先　公民館内連青事務局

国宝延命地蔵尊御開帳
花まつり商工祭

五月七日　屋外映画会　店頭装飾コンクール

八日　県下民謡コンクール　学童ブラスバンド吹奏会（子定）

主催　奉賛会・商工会・保存協会

町税制の改正
報償金の徹廃・納期変更

◎今まで町税と県民税を納期限内の納入者に対し二%の報償金を交付していたものを、四月一日より之を廃止した。

◎納税貯蓄組合法により設立してある納税貯蓄組合には、次の通り助成金を三十七年度より左記のように増額する。

組合員三十名以下の組合には年額一名につき金五十円、組合員三十名以上の組合には年額一名につき金百円

◎個人の町民税、固定資産税の納期は次のように四月一日より改正されたり之を廃止した。

1、町民税

	改正前	改正後
第一期	六月	六月
第二期	八月	八月
第三期	十月	十月
第四期	十二月	一月

2、固定資産税

	改正前	改正後
第一期	四月	四月
第二期	七月	七月
第四期	九月	十二月
第四期	十二月	二月

（総務課）

バレエ白百合学園小須戸支部

- 会場　第一保育園
- 日時　毎日曜日　午前9時30分〜12時まで
- 年令　別にとわず
- 月謝　月300円
- 母の会々費　月30円
- 発表会　毎年9月第1日曜
- 衣裳　先生より借用
- 申し込み　毎日曜日第一保育園で

× 5年前より練習をつゞけている。
× 25人前後（全員）
× 各地に支部あり交換会等も行なう。

彼岸句会
小須戸町俳句同好会

呼び止めて花買う厨入彼岸　水月
かりそめの土になじみて根芹摘む　杏水
十畝ほど蒔かれしものに春の雪　虚秋
クロッカス村一軒の雑貨店　渓灯
おちついて檜木いじるや春の雪　香月
雪ながら薄陽もありし彼岸入り　芳人
掃りきて先づみる鉢の沈丁花　紫川
燃たびも炭つぎ足して目刺焼く　竜朗
彼岸入りして又寒さ冴え返り　一陽
新仏の四十九録や冴え返る　流水